

## SSJDA Direct 利用規定

SSJDA Direct は、東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センターが運営する SSJ データアーカイブに寄託された個票データをインターネット上で利用申請するシステムです。一部のデータについては申請承認後データをダウンロードしてご利用いただくことが出来ます。SSJDA Direct の利用にあたっては、以下の利用規定に同意していただく必要があります。

### 1 秘密の保護

個々の調査対象を特定する集計は行わない。

### 2 利用目的の制限

学術目的での二次分析以外には利用しない。

一部、教育利用目的での利用が許可されたデータについて、教育利用目的で申請された際は、教育利用目的以外には使用しない。

### 3 大学院生および学生の利用における教員承認について

大学院生の利用には、教員の承認が必要です。大学院生および学生より利用申請があった際は、学生より入力された教員へメールが送信され、メールを受けた教員が本システムにログインし当該申請について承認した後に、正式な利用申請が可能となります。

### 4 出典の明記

SSJ データアーカイブを利用して行った二次分析の結果を発表する際には、データの出典を明記する義務がある。

#### [出典の表記事例]

この結果は、東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センターSSJ データアーカイブを利用し、同データアーカイブが所蔵する〔「○○○調査」(寄託者名)〕の個票データを二次分析したものである。

### 5 発表物の送付

SSJ データアーカイブを利用して行った二次分析の結果を論文や報告書などにまとめたときは、その結果を SSJ データアーカイブに報告したうえで、実物またはそのコピーを、決められた部数（通常は 2 部）SSJ データアーカイブに送付する。

## 6 ユーザー情報の変更

ユーザー登録内容について変更が生じた場合は、速やかに、SSJDA Direct でユーザー情報を変更する。

## 7 問い合わせ

利用する個票データ及び調査の方法等に関する照会は、SSJ データアーカイブを通して行うこととして、寄託者に直接行わない。

## 8 問題発生時の対応

何か問題が生じた場合には、SSJ データアーカイブの指示に従う。

## 9 免責

SSJDA Direct の利用により何らかの不利益を被ったとしても、寄託者及び SSJ データアーカイブは一切責任を負わない。

ユーザー登録に当たり、上記利用規定に同意します。